



2015年度 STRJワークショップを開催



半導体産業の将来は？「半導体ソリューションプラットフォーム産業への展望」をテーマとしたパネルディスカッション～キーワードは「壁」「流」「躍」～

STRJ (Semiconductor Technology Roadmap committee of Japan: JEITA 半導体技術ロードマップ専門委員会) は、日本の半導体産業におけるニーズと戦略に基づき、国際活動とも連携して、JEITA 半導体部会の技術委員会傘下の専門委員会として活動を続けてまいりました。STRJ の委員は、日本を代表してITRS (International Technology Roadmap of Semiconductors) の編集作業に参加するとともに、日本国内でも技術動向を調査しております。

国内外の活動を通じて半導体業界内での情報共有を行うとともに、半導体関連業界にはタイムリーな開発実用化に向けて、大学・研究機関には研究課題の方向について情報発信を行っております。

STRJでは技術ロードマップに関する情報・認識を共有するため、毎年3月初旬にSTRJワークショップを開催してまいりました。今年度は、2016年3月4日に品川コクヨホールにてSTRJワークショップを開催し、184名の方にご参加いただきました。

ワークショップの最初に、経済産業省商務情報政策局デバイス産業戦略室の田中邦典室長に来賓ご挨拶をいただきました。ご挨拶の中で、「世界的にもIoT、Big Dataの時代になって、半導体はそのけん引役としての役割を期待されている。経済産業省でもIoTの推進に向け、環境整備を行っている。ロードマップ活動が今後の新たな成長につながることを期待している」とのお言葉をいただきました。

プログラムでは、ITRS (国際半導体技術ロードマップ) の最新動向の概説の後、STRJの各ワーキンググループ (12WG) から活動状況の報告が行われ、最近1年間の半

導体技術動向のトピックスを当日ご参加の皆様と共有する良い機会となりました。

今回、東京工業大学の岩井洋名誉教授に、「半導体微細化ロードマップの終焉とその後の世界」という題目の講演をしていただきました。

最終セッションでは、「半導体ソリューションプラットフォーム産業への展望」についてのパネルディスカッションを行いました。STRJ諮問委員会の林委員長がモデレータをつとめ、東京工業大学の岩井名誉教授、北海道大学の浅井准教授、ロームの高須チーフアドバイザー・技術顧問、ルネサスの水野CTO室長にパネリストとして登壇いただき、「壁」「流」「躍」をキーワードとして、半導体産業の将来 (人工知能デバイスアーキテクチャやアジアを中心とする半導体産業の戦略など) について活発な議論がなされました。

最後に、STRJの諮問委員会林委員長に全体総括していただき、ワークショップは締めくくられました。

STRJワークショップは通算17回目の開催となりますが、STRJワークショップとしては今回が最後の開催となります。ムーアの法則が終焉に近づいたこともあり、ITRSからIRDS (International Roadmap for Devices and Systems) への移行が検討されています。これと相俟って、STRJの活動もいったん終息いたします。今まで、多くの方にSTRJの活動にご支援いただきましたこと、STRJワークショップに多数の方にご参加いただきましたこと。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。大変ありがとうございました。

なお、STRJ のホームページ (<http://semicon.jeita.or.jp/STRJ/>) では、これまでの活動結果であるITRSの日本語訳、STRJの活動情報などを継続して10年間掲載してまいります。